



しらね



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirane/>

通学路が一部変更になります

校長 神倉 美智子

子どもたちの安全な登校のため、4月から通学路の一部を変更することになりました。

場所は、白根5丁目と1丁目の間の交差点、焼き肉「後樂園」さんから「小麦の里」パン屋さんへと渡る横断歩道のところ。ここは、通学時間帯に、上白根第二公園方向から白根通りに向けて坂道を降りて走ってくる車が多く、白根通りに面した信号が青だと、つつい変わる前に通過しようとスピードを上げがちになります。しかし、ここには横断歩道はあるが信号はありません。でも毎朝270人ほどの児童が、車をあまり気にせず二つの横断歩道の間に広がって大勢で渡り、いつも危ないと感じていると、見守りをしてくださっている学援隊さんが教えてくださいました。

そこで、児童の安全のため、信号機の設置または一時停止の標識の設置を警察にお願いしましたが、白根通りの信号と距離が近すぎるということで、どちらも叶いませんでした。

そのため、その横断歩道を避けてプロムナードの道を通り、白根通りの信号のある横断歩道を渡るよう、通学路を変更します。4月の集団登校では、新たな通学路の確認をお願いいたします。

さて、この一連の活動に関して、私は改めて白根という地域の絆の強さを感じました。最初に危険を察知して動いてくださった学援隊さん。すぐに児童の安全のため、安全対策会議を立ち上げ、数回にわたり改善策を検討してくださった関係地域の自治会長さんたち。様々な対応策を調べ、提案してくださったPTA会長。地域の要望として警察に申し入れをし、陳情に行く時には帯同してくださった議員さん。すぐに私服で朝の児童と車の状態を調査してくださった警察官。そして安全対策会議にも参加し、物理的な改善が無理となったときに通学路の変更を検討・実践してくださった校外委員長さん。今後、直接子ども達に新しい通学路を教えてくださいることになる校外委員の皆さん等々、本当にたくさんの方々が動いてくださいました。

来年度のスクールゾーン対策協議会にかけて改善を…とのんきに考えていた私は、これらの皆さんの動きの速さに驚き、圧倒されるとともに、子どもの安全について真剣に考え、それぞれの立場でできる事を精いっぱい動いてくださっていることに、心からありがたいと思いました。

私は、学校運営の第一に、「学校・保護者・地域が三位一体となって行う教育を目指す」と掲げてきました。学校運営には、皆さんの力が大きな支えになっていると、改めて感じました。そんな中で育つ子どもたちは本当に幸せだと思います。そして、この子たちが成長した時、きっと白根を支える大きな力になると信じています。

早いもので、過去に例のない「休校」から始まった今年度も、残すところあとひと月となりました。3月に入ると、毎年の私の大切な仕事の一つに、卒業証書の作成があります。子どもたち一人一人の顔を思い浮かべ、名前に託した親御さんの思いを想像しながら、毛筆で心を込めて名前や生年月日を書いていきます。本来ならばもっと楽しい思い出がたくさん作れたはずだったこの1年間。それでも、最上級生としてしっかり白根小を支え、下級生をかわいがってくれた6年生。卒業式も、保護者お一人しか参列していただかず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。6年間温かく見守り、学校教育にもご協力くださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



❀ 3月の目標 ❀

[生活] 1年間のまとめをしよう

[保健] 学校をきれいにしよう

[給食] 楽しく会食しよう



5組



朝会でダンスの発表をしました！

講師の先生方に指導していただき、その後に練習を重ね、ダンスの撮影を行いました。また、その映像が2月17日の朝会でテレビ放送されました。クラスの友達から「すごいわね！」と声をかけられたり、拍手をもらったりして、5組の子どもたちはとても嬉しそうな表情が溢れていました。

今年度のような状況でも、こうした形でたくさんの人に練習の成果を見てもらうことができ、一生懸命頑張っている練習することの良さや達成感を味わうことができました。講師の先生方、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

1年生



大好きな6年生へ

国語で手紙の書き方の学習をしました。お手紙を送る相手は6年生です。自分の習い事についてや、6年生と一緒に遊んだ思い出、学校で頑張っていることなど、普段なかなか伝えることのできないことを文章にまとめました。

いざ完成したお手紙を6年生の教室まで届けに行くと、恥ずかしがりながらも、気持ちが伝わるように渡しました。6年生に喜んでもらえたら嬉しいです。

2年生

外国語の学習も頑張っています！

今年度の外国語活動は、外国語はダニエル先生、国際理解教室はインドネシア出身のワティ先生に教わっています。二人とも、とても明るく優しい先生で、子どもたちは楽しみながら、英語の発音を学んだり、日本とは異なる国の文化に触れたりすることができています。

2月の外国語の学習では、英語で色をどのように発音するかを学びました。子どもたちはいつも、ダニエル先生の発音を一生懸命真似しています。今年度の学習は残り少ないですが、これからも楽しんで外国語の学習に取り組んでほしいと思います。



3年生

昔の道具に触れてみて！

社会科の「わたしたちの市の歩み」の学習では昔の道具について学習しました。

100年以上昔に使われていたベル式の電話や、黒電話に触れて「これどうやってかけるんだろう」「受話器が重い」といったように初めて触れる道具に興味深々、とても楽しそうに昔の電話を調べていました。

次は自分で1つ昔の道具を決めて調べてみます！昔の道具を中心に学習することで、人の生活がどのようにして変わっていったのかを学ぶきっかけにできればと思います。





4年生



初めての幅跳び / 自然災害へのそなえ

体育では、幅跳びを行いました。子どもたちはフォームを整えるために、助走のリズム・踏み切り・空中姿勢・着地のポイントを意識して何度も練習をしました。練習を重ねるごとにフォームも整い、記録も伸びていました。

国語の「もしものときにそなえよう」の学習では、自然災害について自分でテーマを決め、テーマに沿ってパソコンや本などを使って調べて紹介する文章を書く活動をしました。子どもたちは、調べ学習を通してパソコンの使い方にも慣れてきました。そして、初め・中・終わりの組み立てに気を付けて紹介する文章にまとめることができました。

5年生



感謝とお祝いの気持ちをこめて

今年度はコロナ禍の影響でたてわり活動がほとんどできず、例年行っている1～5年生が たてわり教室の6年生にお祝いの手紙を書く活動もできなくなりました。

「このままではいけない」「今年の6年生にも、お世話になった思いとお祝いの気持ちを伝えたい」ということで、5年生が6年生に向けて、感謝とお祝いの気持ちを伝える活動をスタートさせました。具体的に何をしていくかはまだまだ話し合っているところですが、6年生が喜んでくれるとともに、5年生が最高学年に向けての気持ちが高まってくれることを期待しています。

6年生

卒業に向けて・・・

卒業までとうとう20日を切り、だんだんと卒業に向けての最後の活動に取り組むようになってきました。図工や家庭科では、卒業制作に取り組んでいます。

ある朝には、一年生が教室にやってきて、六年生へのお手紙を書いて届けてくれました。一年生からのお手紙を嬉しそうに笑顔で読む六年生の表情が印象的でした。

また、最後のクラブ活動や委員会活動も行いました。委員会活動では、五年生に向けて一人一人が振り返りを話す場面もありました。

卒業に向けての活動も最後までしっかり果たせるようにしていきます。



今年度の学校運営協議会・ゆりの木会について



今年度の学校運営協議会とゆりの木会は、緊急事態宣言等の影響で例年通りには行えませんでした。学校運営協議会は、緊急事態宣言が発出される中、5月22日に臨時にお集まりいただき、宣言中の学校の対応や学校再開の方針について学校からご説明し、ご意見やご質問をいただきました。また、11月12日の運営協議会では、140周年に向けた取組の現状と今後の見通し、伐採することになったユリノキの活用などについて話し合いをしました。2月26日には今年度最後の運営協議会を予定していましたが、緊急事態宣言の延長により、やむなく紙面開催となりました。

また、ゆりの木会は、11月17日1回の開催となりました。当日は総合防災訓練をご覧いただき、訓練の感想やミニ運動会についてのご意見をお話いただきました。

新型コロナウイルスの影響で、予定通りにいかないことが多い中、学校と地域が連携してできることについて模索した1年間ではなかったかと思えます。



